

男子も女子も厨房に入ろう

ゆめっせ子ども料理教室

7月23日・30日、田川市民会館で「ゆめっせ子ども料理教室」が行われ、両日合わせて32人の小学生が参加し、メキシカンライスと野菜スープづくりに挑戦しました。

これは、市男女共同参画センターゆめっせが、子どもの頃から料理に親しむことで、家庭での男女共同参画意識を高めようと実施しているもの。子どもたちは、給食調理員の指導を受けながら、子ども用包丁でキャベツや玉ねぎを切ったり、材料をフライパンで炒めたりとグループで協力しながら料理を完成させ、きれいに盛り付けていきました。

参加した石橋^{いしばしやよい}弥生さん（大藪小学校1年）は「玉ねぎを切るのが難しかったけど、おいしくできました」と話しました。



▲やけどしないよう、真剣に慎重にゆでたり炒めたりしました

みんなの力で地球を冷やせ!

打ち水大作戦2016inたがわ

8月3日、田川市民会館玄関前で、「打ち水大作戦2016inたがわ」が行われ、西保育所園児24人と市教育委員会主催の「たがわトコナツKIDS」に参加している小学生1～3年生25人が、日本古来の文化である「打ち水」を行いました。

この日の気温は40度、路面温度は48.2度と猛暑日で、絶好の打ち水日和。子どもたちは汗をぬぐいながら、われ先にと水の入ったペットボトルを抱えて走り出し、縦横無尽に水をまきました。熱い路面にまかれた水は、蒸発することでその熱を奪い、辺りには次第に涼しい空気が流れ始めました。子どもたちが力を合わせた結果、気温は38.2度に、路面温度は40度に下がり、作戦は大成功でした



▲「涼しくなった、もっとやろう」とはしゃぎながら打ち水を楽しむ園児たち

夏休みの自由研究もこれでバッチリ?

親と子のものづくり教室

7月30日、田川科学技術高等学校で「親と子のものづくり教室」が行われ、小学生とその保護者など約50人がものづくりに挑戦しました。

この取り組みは、同校生徒が普段の授業で学んだ技術や知識などを地域に還元し、子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらおうと催されたもの。参加者たちは、同校の生徒や教員に指導を受けながら、パンづくり、電気スタンドづくり、陶芸、木のおもちゃづくりにそれぞれ挑戦していました。

電気スタンドをお母さんと一緒につくった山本^{やまもとれおん}怜音くん（大藪小学校3年）は「はんだづけが難しかった。つくった電気スタンドは、寝るときに使いたい」と話しました。



▲手に細心の注意を払って、木のおもちゃづくりに挑戦